

関西電力送配電株式会社への柱上変圧器納入

1 概要

関西電力送配電株式会社（以下、関西電力）への営業活動を続けてきた。その結果、今回新たに柱上変圧器（以下、本器）の型式を取得し、2022年度下期より納入を開始する。

関西電力への納入開始により、本器は全電力会社10社の内8社へ納入することとなった。

2 仕様

関西電力向け本器の定格を表1に示す。

表1 関西電力向け柱上変圧器の定格

種類	一般形
相	単相変圧器（単三専用）
定格周波数	60 Hz
定格容量	10, 20, 30 kVA
定格電圧	定格一次電圧：6,600V 定格二次電圧：210/105V
タップ電圧	タップレス

3 特長

本器の主な特長は以下のとおりである。

- ・一次ブッシングにはリードレススタッドブッシングを採用し、工事時に使用するバイパス工具が使用可能な構造とした。
- ・二次ブッシングにもリードレススタッドブッシングを採用し、絶縁カバーとの勘合性を高め運転時に通電部が露出しない構造とした。
- ・一次ブッシング間の中央に高圧絶縁電線を支持するための金物を取り付ける座を設けた。
- ・使用する部品は他変圧器用部品と極力共通化を図った。



柱上変圧器の外観

DX認定事業者に選定



1 DX 認定について

株式会社東光高岳は、経済産業省が定めるDX認定制度にもとづき、2022年1月1日付で「DX認定事業者」に選定された。

DX認定事業者とは、デジタル技術による社会および競争環境の変化を踏まえ、ビジョンの策定や戦略・体制を整備し、DX推進の準備ができている事業者である。

2 ビジョンと実現に向けた基本戦略

東光高岳は、2021年9月15日に「東光高岳デジタルトランスフォーメーション戦略（TKTK-DX）」を公開し、グループ一体となってDXを推進している。

TKTK-DXにおいては、「東光高岳グループ2030 VISION & 2023 中期経営計画」にもとづき領域を三つに分け、それぞれに目標を設定しDXを推進している。

3 DX 推進体制と今後

TKTK-DXは社長を最高カイゼン責任者（最高DX責任者に相当）とし、その直轄組織である「DXカイゼン推進本部」、新規事業分野は「GXソリューション事業本部」を中心に、「バリューチェーンのデジタル化」や「IoT共通基盤の拡張」などの取り組みを行い、DXを加速していく。

